

**第3回車座トーク（7月5日 松江市）でいただいたご意見に
対する県の対応 テーマ「島根県ならではの情報発信～新たな戦略～」**

1. 来年度に新たに実施または拡充するもの

いただいたご意見	対応状況
情報発信も、観光と同様に、誰に向けて、どういう人に来てほしいか、どう伝えたいかを考えるところから、物をつくったり、考えたりすべき。	民間で先駆的に情報発信に取り組んでいる方々の意見も取り入れながら、しまねの「魅力」や島根らしさ、島根での暮らし方が多くの人を惹きつけ、島根に関心を持ってもらえるよう、国内外に向けた情報発信を強化していきます。
地元の人も誇りが持てるし、発信する側も自信をもってできるような環境ができるといい。	民間で先駆的に情報発信に取り組んでいる方々の意見を取り入れながら、多くの人々を惹きつけ島根に関心を持ってもらえるような「しまねの暮らしや島根らしさ」の情報発信強化と、県民の誇り・郷土愛を醸成するような広報の強化を図っていきます。
Uターンを強制できないという人が多いが、「島根でないとだめでしょ」とはっきり言う大人がいた方がバランスがとれる。島根に残るとこういうことがあるとか、こういう人が格好いい大人だよと教えてあげる人がいていい。	民間で先駆的に情報発信に取り組んでいる方々の意見を取り入れながら、島根らしさのイメージや島根で頑張っているかっこいい大人の生き方などの情報発信を通じて、島根への愛着心や誇りの醸成を図っていきます。

2. 実施に向けて検討しているもの

いただいたご意見	対応状況
インターネットによる情報発信はこれからもっと凄いことになる。早く島根県として取り組んでほしい。女性目線から情報発信すれば、島根県を特徴づけられる。	民間で先駆的に情報発信に取り組んでいる方々の意見や女性目線を取り入れながら、更なるITの有効活用に取り組んでいきます。
隠岐四島みんなで、国際交流員が連携して、町の立場は別々でも、一緒に海外に向けて情報発信したい。	市町村や関係団体を対象にした広報専門研修や、民間で先駆的に情報発信に取り組んでいる方々の意見を取り入れながら、エリア内の相互連携による情報発信の強化を引き続き検討していきます。

3. 既に実施しているもの

いただいたご意見	対応状況
他県と連携して、島根の良さや情報について他県の駅にポスターを貼ってもらうなど、細かいところまでしたらいいのではないかな。	引き続き、首都圏や関西などで観光等のポスターを貼ることによってPRを行ってまいります。
どこへ向けて、誰を呼びたいかを分けながら媒体をうまく活用する必要がある。メディアにはそれぞれ特徴があり、内容によって使い分けるのがいい。	特定のメディアに偏ることなく、広報の対象とする層や、取り上げる内容に応じて広報媒体を選定します。 今後もターゲットに「伝わる」ことを第一に考えていきます。
一定のクオリティで情報発信できる人が確保できれば、状況は変わる。そのための育成が重要。	市町村や関係団体を対象とした実践的な広報研修や、民間で先駆的に情報発信に取り組んでいる方々の意見を参考に島根全体の情報発信力の強化に取り組んでいます。 今後も引き続き、情報発信ができる人材の育成と、情報発信力の強化を進めてまいります。

4. 今後の取組を検討するうえで参考とさせていただくご意見

- ・島根型の関係人口の定義、どういうキャリアの人がどういう形で入ってきて数年後にどんな姿

- をしているのか、といったイメージをつくらないといけない。
- ・「帰ってこい」というPRはこれから大事。教育のところから。高校のときから。

5. 現時点では取り入れることが難しいご意見

※ なし